

プレスリリース

報道・教育担当 各位

2016/6/15

名古屋学院大学学長 木船久雄



【主催】名古屋学院大学、文化のみち榎木館
せとでんフォーラム開催

名古屋学院大学では、6月19日（日）13時30分～15時00分、現代社会学部の古池 嘉和教授と「プロジェクト演習」履修学生9名が企画したフォーラム『せとでんフォーラム』を文化のみち榎木館にて開催いたします。

【趣旨】

陶磁器の産地瀬戸と、その素地（きじ）に上絵付けをして製品化した名古屋市東区一帯を結び、開業から110年間にわたって人とモノを運び続けてきた瀬戸電。人びとの記憶に残るエピソードとともに、瀬戸と名古屋をつなぐ「やきものと電車」について語り合います。


【プロジェクト演習】


現代社会学部現代社会学科の科目「プロジェクト演習」では、少人数のチームを編成し、コミュニティの活性化や課題解決を目的としたプロジェクトに取り組みます。現場調査や市町村との連携を通して、チームワーク、交渉力など、社会に求められる基礎力を身につけます。今回開催される「せとでんフォーラム」においても、学生たちがチラシのデザイン案を作成するなど様々な経験を積んでいます。


【フォーラム内容】 ※本事業は、文部科学省COC事業（「地域志向教育研究助成」名古屋学院大学）として実施しています。

『電車とやきものがつなぐ、瀬戸と名古屋についてのトーク』


■ せとでんフォーラムパネラー

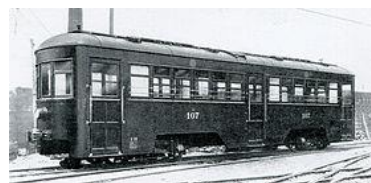
 鈴木 政成 氏（株）中外陶園代表取締役／瀬戸市まるっとミュージアム 観光協会会長）

 山田 司 氏（瀬戸市役所勤務／瀬戸鉄道倶楽部）

 田村 哲 氏（愛知県陶磁美術館 主任学芸員）

■ コーディネーター

 古池 嘉和（名古屋学院大学 現代社会学部教授）



「せとでんフォーラム」

◆日 時：6月19日（日）13:30～15:00（受付／13:00）

◆主 催：名古屋学院大学、文化のみち榎木館

◆会 場：文化のみち榎木館 1F 和室（名古屋市東区榎木町 2-18）
地下鉄桜通線「高岳」下車、1番出口より北に徒歩 10 分

◆定 員：30 名程度

◆入館料：大人 200 円、中学生以下 無料

※フォーラム参加費は無料